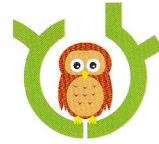


みどり



友愛みどり園
ケアホームもやい
移動支援事業所「ふくろう」
相談支援事業所 つむぎ
あごら ビータス
あさし

2023.11.10 vol.78

〒276-0040 八千代市緑が丘西 5-20-2
TEL 047-458-7477 FAX 047-459-9541
https://yokuyu.or.jp
E-mail: midorien@ca.wakwak.com

Contents

| | | |
|-------------|-----|-----------------|
| ケアホームもやい …… | 1 P | 特集 |
| きざし …… | 2 P | 「助けたり、助けられたり」… |
| 掲示板 …… | 2 P | よくゆうぶちねっと …… |
| | | 最近気になるお野菜レシピ …… |
| | | 4 P |



ケアホームもやい

今回は開所から1年が経過した「朋」と、開所から10年が経過した「ゆい」の様子を、それぞれ紹介させて頂きます。

「朋」もう一つの我が家へー

昨年度に開所した朋ですが、利用者にとって「もう一つの我が家」となることを目指し、5名の利用者と共に生活を築いてきました。今回は、特に私の好きな朝の様子を少し紹介させて頂きます。

朝食が終わり、仲間が身支度を始めると、「自分もそろそろ？」といった様子で周囲を見て着替え始めるAさん。着替え終わると職員に「終わったよ！」と視線で伝えてくれるので、職員も「OKです」と応えると、力強くGOOD!とジェスチャーを返してくれます。また、仲間が身支度で困っていると、ヒーローのように駆けつけてくれるBさん。肩を貸してあげたり、着やすいようにと服を整えたりしてくれま

5名の利用者は、仲間の存在を互いに感じながら生活する中で、自然に支えあつて生活してくれているように見えます。今後5人が互いに支えあう中で、朋が「もう一つの我が家」になれるように、一緒に豊かな暮らしを築いていきたいと思えます。

「ゆい」一思い出を一緒に噛みしめられる仲間ー

ゆいは開所から

10年以上が経ち、年齢も性格もバラバラの5人のメンバーが、この間で姉妹のような関係になりました。時には喧嘩もするけれど、最後は一致団結できる最高の仲間です。「5人で「ゆい」だよね！」と利用者同士で話していることがありましたが、その言葉通り、1人でも欠席すると、なんだか様子が違うのです。でも、また5人集まると、すぐ賑やかになります！どんな時も5人一緒だったゆいですが、最近では1人の時間を作ったり、わがままを言ってみたりと、少し変化も見られるようになりました。思い思いの時間を過ごし自分の時間も大切にします。十分に互いを信頼できるようにするためからこそ出てきた変化かもしれません。

写真は4年半前、利用者と家族がゆいに集まってパーティーを行った時のものです。この時の写真を、ご家族が1冊のフォトブックにしてくれたのですが、それはゆいの宝物となり、今でも写真を見ながら「楽しかったね。」などと、昨日のことのように話しています。いつも自分たちが過ごしているゆいに家族が来てくれたことを特別に感じたようです。ゆいはパーティーやイベントが大好きです。今はみんなで集まるのが少し難しくなってきました。今までは、またみんなで集まってワイワイすることを楽しみにしています。「特別」な思い出をたくさん作り、それらをみんなで噛みしめることができる関係を大切にしていきたいと思えます。



きざし

「ただのレクじゃない……！」

「きざし」では毎週金曜日にレクリエーション大会を行っています。タイトル通り、「椅子取りゲームみたいな定番を攻める」「決まった何種類かのゲームをローテーションで行う」等の内容ではなく、毎週きざしオリジナルのゲームをやっています。

なぜそのようなことを？と思われるかもしれませんが、これには多くの狙いがあります。大きく分けると「利用者を知ら続ける」「利用者に初めての事へ挑戦して貰う事で新たな一面や隠れた能力を引き出す」「多彩な場面を通じて、支援者の合理的配慮について考える力を養い続けていく」などといった点が挙げられます。この狙いがスタッフ全員の原動力となり、きざしにおける支援の醍醐味となっています。

さて、どのようなゲームをやっているのかを少し紹介していきます。左上の写真は「何らかの容



器に渡された分の自家製スライムを全部入れる」という内容です。写真の方は上部を切り取ったペットボトルにお椀のスライムを全部入れるのが課題となっています。そして容器の穴の大きさやスライムの粘度や量は利用者によって変えています。例えばAさんは通常のペットボトルに柔らかめのスライムを入れる、Bさんは上部を切ったペットボトルにやや硬めのスライムを入れるといったように、利用者の特

性やニーズに合わせたアプローチを取ることで、より公平な競技性を目指しています。もっと言えば「利用者全員が同着ゴールをする」が目標です。その背景としては前述の「多彩な場面を通じて、支援者の合理的配慮について考える力を養い続ける」狙いが大きく挙げられます。個々に合理的配慮をしていきながら競技性を公平にしていける事で、より多くの利用者が互いに競争心を燃やしたり、競技そのものに対して充実感が持てたり等の効果もあります。逆に伸ばしたい部分へのアプローチとして試練となる要素を加える事も……。それぞれの障害特性や困りごとに合わせて行う配慮は支援者の永遠の課題であり、常に意識しなければいけない要素です。当然、合理的配慮について考える回数が多いほど利用者への対応の幅は広がります。分かりやすい場面だと、調理や創作活動の時に「Aさんは、細かく物を切るのが得意だから〇〇をやって貰おう」等の発想が瞬時にやすくなっ

ています。利用者には様々な初めに挑戦して貰う事でポテンシャルを発揮していく、支援者は個々のゲーム設定やリアルタイムでの説明の仕方を考えていく、この一連の流れこそが互いに良い相乗効果を生んでいます。

次に右下の写真をご覧ください。このゲームはテーブルいっぱいに置かれた野菜(きざし産)の中から、配られた注文書に記された物を選んでいくルールです。この時に一番悩み抜いていたのがーさんでした。ーさんは勝ち負けが絡むと燃えてしまう熱血漢で、このゲームに懸ける想いは人一倍強い方です。そして普段は周囲の様子をよく見ており、気配り上手な一面も持ち合わせています。それ故に周りを気にして悩んでしまい固まってしまふことも……。ーさんに今回出された注文は「ジャガイモを5個、タマネギを4個、ニンニクを0個」で、これを覚えて野菜の置かれてあるテーブルまで行って貰いました。最初は何事もなくジャガイモ、タマネギを袋に入れていくーさんでしたが、途中で手を止めて周りの様子を見始めました。実はーさん以外の利用者にも「〇〇を0個」という注文は無く、周りの皆は全てのカゴや袋に野菜を入れていました。そして今回のような物を選んで行かなくというケースは殆ど無かった事も固まる要因の一つだっ



たと思われま。経験の無い場面周囲は従来のルールで動いているという中、ーさんの姿からは困りながらも考えを巡らせている事がとても伝わりました。このまま固まって迷宮入りしたらどうしようと思われま。支援者が心配していると、何かを決心したようにニンニクを一個持ってきたーさん。「野菜持ってきたー！」と半信半疑な様子で来たーさんからは勇気が垣間見えました。そして一個は不正解な事、この場合における0の意味を再確認してリスタート！こちらの様子を少し確認しながらもニンニクをテーブルに置いて、少しだけ悩んだ末に見事ゴール🔥未知の経験と周りとの違うルールを乗り越えたーさんの表情は自信に満ちていました。何より一度は周りを気にしてしまふ固まった状態を自分で打破した姿は、レクリエーションを通じての成長と喜びを象徴しておりました。これから私達「きざし」スタッフ一同は、利用者を持つ能力を深く理解していくことを止めず、適切で楽しい支援を提供することに挑戦し続けていきます。今後も定期的に報告していくかも……⑦

是非お越し下さい！

- ・グリーンフェス 11月18日(土) 11時～15時 場所：友愛みどり園
野菜、ジャム、木工製品、さをり製品、陶器製品の販売や活動体験等を行います。
- ・宜候展(絵画・造形作品展) 12月13日(水)・14日(木)・15日(金) 10時～18時
場所：勝田台ステーションギャラリー

特集

「助けたり、助けられたり」

今年度は「助けたり、助けられたり」をテーマにお伝えしようと思います。私共の法人では「共生」という言葉を大切にしてきました。施設の中では、私たち職員が利用者さんに助けられることがたくさんあります。利用者さんの優しさ、真面目さ、根気強さ、明るさに職員が支えられていると実感しています。私たちは支援をする側ではありますが、助けられていることもたくさんあるのです。

そんな場面が施設の外で見られないだろうか?! と思い、様々な方にお話を聞かせて頂くことにしました。この特集で素敵な「お互い様な場面」をご紹介しますと思っています。

今回お話を聞かせて頂いたのは、八千代市内の教育現場に携わっている3名の方です。

市内の小中学校には特別支援学級が設置されており、殆どの学校で「交流学級」（言い方は学校によって様々のようです）と言って普通級と一緒に授業を受けるそうです。その参加の仕方はお子さんによって様々、自由に選択できるそうです。殆どの授業と一緒に受けるお子さん、特定の授業だけを受けるお子さんや、その日の体調によって予定を変えるお子さん、給食だけに参加するというものもあるそうです。そんな交流学級のことを中心にお話を伺いました。

Q、特別支援学級ではどのような授業をしていますか？ お子さんたちと関わる時に心がけていることはありますか？

A、今やっていることを「次に繋げる」事を意識しています。今やっている算数のブロック合わせが、学年が上がっていくごとに図形に繋がるとか、ここに繋がるだと感じてもらえるように授業をしています。

たとえば10月のイベントにはハロウィンがありますが、季節の事を伝えたり、秋の次は冬に季節が変わっていくということをまず初めにみんなに「知ってもらおう」ようにしていますね。そうやって来年に繋がっていくと考えています。

Q、情緒クラスはどうでしょうか？

A、情緒のクラスでは、殆どの授業を交流学級で受けることができるお子さんもいます。

ですが、情緒のクラスでは気持ちのコントロールが難しい子が在籍していて、一人一人毎日違う様子が見られます。その中で一人一人本人のペースに合わせて、その日に出来る範囲で頑張ってもらえるようにしています。個人個人での勉強以外にもクラス全体で出来る事を模索しながら日々子どもたちと向き合っています。

Q、授業によっては交流学級として、普通級の授業に支援級のお子さんも参加する事があると聞きしました。そのなかでお子さんの新たな関わりや普段見られない姿はありましたか？

A、今年度は運動会が5月だったので、早いうちに普通級の子どもたちも学級の子どもたちに慣れていたようで、早い時期から受け入れてくれていたように感じます。

そのおかげもあってか、交流学級の子どもが、「次の授業来る?」と誘いに来てくれる姿も見られました。

それと今日給食を交流級で食べました。支援級に野菜が苦手なB君がいるんですけど、周りの子どもが当たり前野菜を食べる姿を見て、B君も頑張って食べていました（笑）

そんな姿を見ると当たり前にお互いを認め合えるようになっていたんだと感じます。

Q、お子さんの中に差別や偏見のようなものはありますか？

A、支援級が出来たばかりの頃は差別的な発言も子どもたちが言っているのを耳にすることがありましたが、今は入学した時から支援級があったり、集会でも役割を持たせてもらったりするので、学校の全員ではないですけど、知ってくれている子どもも増えたと思いますし、交流級での積み重ねで、クラスの一員として認めてくれているようになったと感じています。

Q、子ども同士の関わりで、助けたり助けられたりしている場面や印象に残っている事はありますか？

A、助けてあげたり、助けられているとかを意識したことはなくて、当たり前前に学校やクラスで過ごしているので、なにかこれといった事は無いんですけど（笑）

先ほどもお話しした交流学級で過ごすうちに、周りの子どもたちが気が付いてくれることもありますし、支援級という人数の少ない環境じゃなく、多人数のなかで過ごしていくうちに社会のルールって言ったら大げさなんですけど、多人数だから経験出来ることもあるなと思います。

例えばマット運動の順番なんかも交流学級をとおして、「列はここだよ」なんて声をかけられるうちに、当たり前前に守れるようになってきた子もいます。

そういう風に、交流学級の子どもたちも普段と変わらない接し方をしてくれることが色々な経験や刺激に繋がっているんだと感じます。

Q、中学校ではいかがでしょうか？

A、子ども同士小学校からの付き合いがあったり、長い付き合いなので交流も見られたりと個人間で声を掛け合ったりする様子が見られます。（交流は）教師側が設定することもあるし、自然発生することもあります。

授業のなかで特別支援学級の生徒たちが普通学級の生徒たちへダンスをレクチャーして一緒に踊ることをやっています。特別支援学級の生徒たちが1週間かけてダンスを覚えたものを5分程度で追いつかれてしまうけど。

他には一輪車の作業が好きな生徒さんがいて、用務員さんのお手伝いを買って出て、一輪車で運搬作業を自分の役割として日常化している方もいます。それを遠くから見た他の生徒や教師が「ありがとう」「ご苦労様」という声をかけてくれたりしています。

3名の方、ありがとうございました。交流する機会が多く設けられていること、その日によって自由に選択できることは素敵なことだと感じました。それはまさに「合理的配慮」であり、子どもの頃からその環境が日常化されていることは障害がある方にもない方にも大切な事だと思いました。

時につまづいた時の心の拠り所・逃げ場の確保がそれ以上に必要です。交流学級は挑戦の場。「頑張ったよー!」「疲れたー!」と、緊張の糸を弛緩させリラックスできる環境があるからこそ、緊張の糸を蓄え挑戦していくことができるのだと思います。皆さんのお話を聞き、そんな安心できる場所が「特別支援学級」なのだと思います。

得意なことを活かして周りから感謝・賞賛を受ける場面が校内でも見られること、交流学級を通じて共に学び高めあう機会があること等、外からでは窺い知れない様子を聞くことが出来ました。この度は貴重なお話を聞かせて下さりありがとうございました。

へんしん★ぷちおしん

今回は友愛みどり園に訪問歯科診療に来て頂いている医療法人志由会マイ歯科医院の大木志朗理事長先生にお話しをお伺いしましたので、ご紹介します。

○マイ歯科医院は どちらにありますか？

八千代市大和田新田、京成バラ園近くで開業しています。昭和61年6月に開業して40年以上が経過しました。現在はドクター5名、衛生士7名、助手3名、受付事務3名の診療体制で地域医療に従事しています。

○友愛みどり園に訪問して頂ける きっかけを教えてください。

友愛みどり園の歯科訪問診療を始めて3年が経過しました。相談支援事業所つむぎの大久保さんの要請で訪れたのが最初でした。車椅子で意思疎通が困難な女性の診療の依頼です。ストレス性の咬合が強く歯ぎしりを常習的に行っており、虫歯も多く普段の診療は難しいと思われたい内容でした。想像はしていましたが相当治療には困難を伴い、どう対処するか苦慮しましたが、まず歯ぎしりの治療から始めて徐々に対応の仕方を学びました。身体に障害のある方の診療は規制があります。お互いに四苦八苦して治療を進めて

いくことが大切であり何事も継続、根気が必要です。毎週、訪問日を決めて今日に至っています。

○訪問診療ではどのようなことを しているのですか？

現在、18名の方を診療していますが、治療よりも予防の大切さを痛感しています。管理者の吉野さん、看護師の白銀さんをはじめ多くの職員の協力なしでは行えません。当院はドクター1名、衛生士3名の体制で訪問診療を行っています。友愛みどり園には多くの方が通所されています。その中で歯科診療を効率的に行うには多くの準備が必要であること、患者さんの状態確認をしっかり把握することが大切で、毎週の訪問で多くのデータを得る事が出来たのは園の職員の協力の賜物です。良いアドバイスが出来るように衛生士との勉強会も院内で行っています。多くの講習会で得た知識を活用できるように頑張っています。

園で対処できない時はマイ歯科に来て頂き治療しております。抜歯、虫歯の治療は清潔な院内で行うべきです。また、全身麻酔が必要な方は東京歯科大学の麻酔科に連絡して治療を依頼しています。幸い私が東京歯科大学の非常勤講師として毎月第一木曜日に大学に赴いています。麻酔科担当医とも

直接会い話も出来ます。より良い治療の一助になっていきます。3年間継続して診療した方も多くおられ、殆どの方が今ではブラッシング指導を協力的にに応じてくれるようになりました。個々に応じて指導が必要なのは理解しています。衛生士の協力なくして訪問診療は成り立ちません。

○先生からお伝えしたいことは ありますか？

虫歯に関して、今はフッ素による予防が一番です。フッ素洗口を勧めたいのですがどうしても一般の方に理解が得られないのが残念です。日本は欧米に比べてフッ素に対する予防が遅れています。高濃度フッ素歯磨き剤がやっと市販されるようになりました。しかし、これだけでは無理です。専門医の指導の下で年齢ステージ毎、使用できる最良のフッ素濃度を調剤することで効果のある予防が出来ます。

病気はなつてから後悔するより健康な時にしっかりと予防するという精神が大切です。職員の方がよく理解して頂き、協力してくれる姿は大変頼も

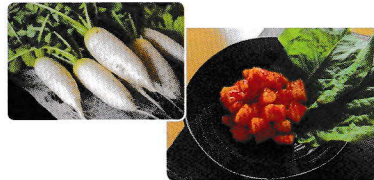
しく思います。献身的に介助や指導をされていると思います。毎週口腔内を検診することで患者さんとの交流が円滑になり、検診が正確に出来るようになります。これが一番大切なことで口腔内の事情をしっかりと把握できること、全身疾患との関連も含めて管理することが重要だと考えています。毎週合う事によるメリットは多くあります。親密感がわくことでいざという時の治療対応もスムーズにできる確かなアドバイスを提供できます。現在、毎週木曜を訪問日として制約ある時間内できに効率的に検診できるか取り組んでいます。今後共宜しくご協力お願いします。

大木理事長先生ありがとうございました。先生、スタッフの皆様、今後共宜しくお願い致します。



担当

★パート8 最近気になる お野菜レシピ ダイコン



《お手軽大根キムチ風》2人分

- 材 料**
- 大根 200g
 - 塩大さじ2
 - ☆粉唐辛子 大2
 - 塩麹 小2
 - 顆粒だし 小1
 - すりおろしりんご 10g
 - すりおろし生姜、ニンニク 小1
 - 酢 小1

つくり方

- 1、大根は皮をむき、1cm角に切る
- 2、ビニール袋に1を入れ、塩を振り水分が出るまで揉み込み、10分程度おく
- 3、2をさっと水洗いして、塩を落とす
- 4、☆を混ぜ、ペーストを作る
- 5、ビニール袋に3と4を入れ、空気を抜き揉み込み、冷蔵庫で2時間程度おく
- 6、皿に盛り付け、出来上がり

飯